

今後の国民スポーツ大会のあり方を考える有識者会議に関する 加盟団体向け説明会 概要

1. 期日 : 令和6(2024)年11月12日(火) 13:30~15:00

2. 会場 : JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階
岸清一メモリアルルーム ※WEB会議併用

3. 出席者: 201名

中央競技団体	役職員	106名	(参加申込数)
都道府県スポーツ協会	役職員	84名	(参加申込数)
JSPO	役職員	11名	

4. 主な内容:

- (1) 「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」に関する概要
- (2) 意見交換
- (3) 今後のスケジュール(案)

意見交換内容(概要)

「1. 開催方法」(都道府県対抗、開催期間)

- 都道府県対抗が県の選手強化費を出す根拠になっており、国内の競技力向上の観点からも残すべき。
- 都道府県対抗は、「みる」スポーツとしての魅力の一つである。
- 選手の負担軽減の観点から開催期間を延ばしてほしい。

「2. 開催地」

- 開催地の負担を考慮しつつも、国スポを契機とした競技普及のためにも、聖地化ではなく、持ち回り方式で開催してほしい。
- 47都道府県持ち回り方式とブロックによる持ち回り形式による負担を比較の上、最適な開催ローテーション方法を検討いただきたい。

「3. 参加者」

- 参加人数の制限があり、チームスポーツでは控え選手数が少ないなど選手の負担が大きいため、参加人数の上限を増やしてほしい。

意見交換内容(概要)

「4. 競技会」

- トップアスリートの参加促進のためには、国際基準に合わせた競技施設は必要。
- 開催地の負担を考慮しつつも、競技の国際基準に合わせた競技施設を準備してほしい。
- 国民スポーツ大会と銘打つ以上、(大会終了後の施設の活用という面からも)国民のニーズに合った施設整備が必要。

「5. 経費」

- 財源確保に向けてNFとしても協力できるところは協力したい。国スポは、各地域の良さをPRする場でもあるため、例えば、ふるさと納税のような仕組みを活用し、全国からの支援者を集ってはどうか。
- 国スポの経費削減の議論において、選手のためにも選手の強化費は別に考えていただきたい。

意見交換内容(概要)

「6. その他」

- 約50年に一度のタイミングで各県開催のローテーションが回ってくるので、何か改善点等があっても、次に活かすタイミングがない。
- 国スポを継続するためには、変わらなければならない面と、NFとして質を担保しなければならない面とのバランスをとる必要がある。
- 開催地で審判員を確保できない場合は近隣の県・ブロックから派遣し、できるだけ経費を抑える形で工夫できるよう、NF側でも検討していきたい。
- NFとしてはしっかり審判員を開催地で養成していかなければならない。
- 開催期間や開催時期などの変更は各競技によって事情が異なってくるので、競技団体のみを対象とした会議の開催を希望する。

意見交換内容(詳細)

「1. 開催方法」「2. 開催地」「3. 参加者」「4. 競技会」「5. 経費」「6. その他」の区分ごとに意見交換を行った。

区分		主な意見	発言団体
1. 開催方法	大会形式	○ 出場する選手は、世界に羽ばたく選手であると位置づけ、都道府県代表という誇りを胸に出場いただく意図で派遣しており、強化費もその趣旨で支出している。都道府県対抗は残していただきたい。	都道府県 スポーツ協会
	大会形式	○ 都道府県対抗が時代にそぐわないといった意見があるが賛同できない。「みる」スポーツとして都道府県対抗は盛り上がるため、今後も残すべきである。	NF
	大会形式	○ 都道府県対抗は継続してほしい。 ○ チームや学校を代表として出場する大会とは異なり、日本代表は日の丸、国スポでは県代表を背負って戦っている。 ○ 都道府県対抗があるからこそ、選手強化費の予算措置ができるため、都道府県対抗の形を崩すと、日本の選手強化に大きく影響する。	都道府県 スポーツ協会
	開催時期・ 期間	○ 国スポは競技会を5日間で実施しているが、国際大会では選手の体の負担を考え、長期間で実施している。選手の負担軽減のために、6日～7日程度での実施を希望する。 ○ 開催時期も夏(秋)以外の実施も検討いただきたい。	NF

(凡例)

中央競技団体 … NF

意見交換内容(詳細)

区分		主な意見	発言団体
1. 開催方法	開催時期・期間	○ 全国知事会の提言は重要な点を指摘しており、国スポを国内最高峰の大会に位置付けるのか、エンタメ性の高い大会にするのかの方向性が決まらなると(出場する選手等のレベル感が定まらないため)開催時期等の検討はできないのではないかと。	NF
	その他	○ 競技の特性上、9月の“会期前”に開催せざるを得ないが、“会期前”という名称が、おまけの大会のような印象をもたれるため、ネーミングは再検討いただきたい。	NF
2. 開催地	開催方式	○ 競技の特性上、特殊な設備が必要となるため、容易に全国に競技会場を整備できず、国スポを機に、競技普及を進めていきたい。 ○ 佐賀大会では競技会に16,000人ももの観戦者が集まり、盛り上がったことから、聖地化ではなく、各地域で競技会場を整備し、開催県で実施をいただきたい。	NF
	開催方式	○ 競技の特性上、県外開催での実施が多い。 ○ 県外開催になったとしても、競技普及の観点から、練習場で良いので、開催県において競技施設の設置を検討していただきたい。	NF
	開催方式	○ 単独開催で47年に一度回ってくるのか、ブロック開催で10年に一度回ってくるのか、どちらがよいか検討が必要。 ○ 国スポの準備期間を考えると開催の5年前くらいから準備に入るため、仮に10年に一度であれば、永続的に準備に追われることになり、開催県の負担が増す可能性がある。	都道府県 スポーツ協会

意見交換内容(詳細)

区分		主な意見	発言団体
3. 参加者	参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加人数の制限があり、チームスポーツでは控え選手数が少ないなど選手の負担が大きいため、参加人数を増やしてほしい。 	NF
4. 競技会	施設基準	<ul style="list-style-type: none"> ○ トップアスリートを国スポに出場させるのであれば、国際基準に沿った会場が必要にはなる。 ○ 競技数の減や規模縮小といった後ろ向きの議論ではなく、施設基準はできるだけ維持する、あるいは開催県と妥協点を検討しながら、大会の質を担保する方向で議論を進めたい。 ○ 国際的にみても、各国内の大会を重視している国も多いため、国スポも施設整備基準が国際レベルに近づくことで、国スポが世界選手権への派遣対象大会にすることも可能であると考えます。NFにとっても、国スポの位置づけを見直すよい機会になる。 	NF
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 競技普及の面からも環境整備は重要であると考えている。 ○ 国民スポーツ大会と銘打っている以上、(大会終了後の施設の活用という面からも)国民のニーズに合った内容に、施設基準も考慮していくことも重要だと考える。 	NF

意見交換内容(詳細)

区分		主な意見	発言団体
5. 経費	全般	<ul style="list-style-type: none">○ 経費の削減は重要であり、議論は0ベースで考えていければと思う。○ また、NFとしても経費削減には協力をしていきたい。開催県側で経費を非公開にされている一方で、経費の削減を検討していくことは難しい面があるため、情報を把握した上で、議論を進めるべき。	NF
	選手強化費	<ul style="list-style-type: none">○ 開催経費と強化費は別もので考えるべき。○ NFとしても、将来のトップアスリート(オリンピック等)を育てる意味で、県の強化費は非常にありがたいもの。そのため、国スポの改革の議論(開催経費の削減等)とは切り離して検討していかなければならない。選手の強化費が削られるようなことはあってはならない。	NF
	その他	<ul style="list-style-type: none">○ 財源確保について、国スポは、各地域の良さをPRする場でもあるため、例えば、ふるさと納税のような仕組みを活用し、全国からの支援者を集ってはどうか。	NF

質疑内容

区分	主な意見	発言団体
	<p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 全国知事会から提言書に、競技団体も経費負担するよう記載があるが、これはNFが負担するものなのか、あるいは都道府県競技団体への負担も含まれるのか。 <p>【JSPO回答】</p> <ul style="list-style-type: none">○ NFが負担することを想定されている。	NF
5. 経費	<p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 開催経費の大部分は、開催県が負担していると思うが、JSPO、国がそれぞれのどの程度の負担割合か教えていただきたい。 <p>【JSPO回答】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 経費は①大会運営費、②施設整備費、③選手強化費の3つに分類される。○ 開催県が開催経費を非公開にしていることが多い。○ 経費を公開している愛媛大会の例では、①大会運営費は、76億(ただし前年度のテスト大会にかかる経費も含む)、②施設整備費は123億円、③選手強化費は40億円となっている○ ②施設整備費については、県によってまちまちではある。○ 補助としては、国が4億5千万円、JSPOは、1億円弱となる。○ 施設整備費は、スポーツ振興くじ助成を活用している場合がある。	都道府県 スポーツ協会

意見交換内容(詳細)

区分	主な意見	発言団体
6. その他	<ul style="list-style-type: none">○ 50年に1回しか回ってこないなので担当者もこれまで積み重ねがない状況。反省点が生じても次につながらない。○ 例えば、エントリー方法がNFとJSPOでは異なるが、50年に1回しか開催しないため、次年度の開催県では、改善につながらないまま踏襲されている。○ 大会を開催する間隔が短くなれば、開催のノウハウおよび人的資源ともうまく活用できていくのではないか。	NF
	<ul style="list-style-type: none">○ 国スポを継続するためには、変わらないければならない面と競技団体としても、質を担保しなければならない面とのバランスをとっていかなければならない。○ 開催期間や開催時期などの変更は各競技によって事情が異なってくるので、競技団体のみを対象とした会議が開催いただけないか検討いただきたい。	NF

質疑内容

区分	主な意見	発言団体
6. その他	<p>【JSPO質問】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 審判員の養成が各県で進んでいない。そのため、他県から派遣要請をするような状況であり、その経費が負担になっていると各県の知事から伺っている。NFの意見を伺いたい。 <p>【NF回答】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 各知事の指摘はごもっともであり、NFとしてはしっかり審判員を開催地で養成をしていかなければならない。○ 開催地の選定時の条件に加えていただくことも一つではないか。○ 開催地で審判員を確保できない場合は近隣の県・ブロックから派遣し、できるだけ経費を抑える形で工夫できるよう、NF側でも検討していきたい。	JSPO/ NF